

2019 年もより良い学びの機会を創出できるよう邁進してまいります。  
皆様とご一緒しながら「人」を中心に「軌跡」を残せることを楽しみにしています。

株式会社 LbE Japan 一同

LbE Japan では、  
「点」の経験が「線」  
で繋がるように、  
学校が起こしたいこ  
とに寄り添い、学習  
者中心の学びの機  
会の実現に取り組  
んでいます。

### 正月といえば「すごろく」？

新年の季語、双六(すごろく)。時代の移り変わりと共に一年のはじめに家族で興じる光景も少なくなったかも知れません。昔から遊びや広告に利用されている「すごろく」は、「旅」や「学び」と相性が良く、旅先をフィールドとして活用するプログラムで、「学びとその蓄積、振り返り(追体験)」の道具(ツール)として活用することができます。

秋の京都・大阪を舞台に、都内の私立高校の修学旅行で、日本で学ぶ留学生リーダー(GEP メンバー)と生徒達が、「旅のすごろく」をつくることを目標として、フィールドワークを行いました。

### GEP Quiz!

Q: すごろくの起源とされるのはいつでしょう？

- ① 1900 年
- ② 500 年
- ③ BC2600 年

(※答えは裏面に記載)

今回は、この学校での取り組みを事例として共有させていただきます。

### 「遊び(楽しい)」と「学び(なるほど)」をつなげる手段として

まず、生徒達は先輩達が前の年に作成した「すごろく」に取り組みました。自分達がまわるであろうフィールド、そのフィールドで先輩達が遭遇したこと、学んだこと、すごろくとしての作りなど、活動の様子全体像を先輩の記録を振り返りながら追体験します。



すごろくのマスには、現地でタスクをクリアしながら蓄積される様々な経験(驚いたことや計画通り進んだこと、留学生リーダーとの間に起きた面白いハプニングやトラブルなど)を残せるよう、リアルタイムで記録し、後で掘り起こしながら盤面に反映させていきます。

現地でのタスクには、単に旅の過程を記録するのみではなく、「英語を使って」「日本文化を」「留学生リーダーに」「分かりやすく」伝えるミッションも含まれています。

歩きながら取り組むそれらのタスクをクリアするべく、班員が力を合わせてコミュニケーション力を発揮する必要がありました。

## GEP Quiz! 答え

A: ③BC2600 年  
盤双六型のゲームとして最も古いのは、古代イラクのウル王朝時代に出土したゲームとの一説があります。  
歴史的にもすごろくの親しみやすさが伺えます。

## 気づきのアンテナを高める

すごろくを作成する前提でフィールドワークに臨むと、自然と気づきのアンテナを張り巡らせるので、普段なら見過ごしてしまいそうな出来事も大切な体験として生徒達の心に残ります。



活動を終わると、どんな出来事を盤面に残していくのかを班で振り返りながら決めていきます。未来に残しておきたい気づきをすごろくのマスとして活用することで、気づきをいつまでも形として残しておくことができます。

## 成長の軌跡としてのすごろく

すごろくは、昔からある誰にでもできるシンプルな遊びですが、学びを蓄積し振り返ることができる、アナログ版ポートフォリオと呼んでも良いかもしれません。いつでも、誰でも作成されたすごろくを見れば、当時の出来事を思い出すことができ、今後の自分の成長に生かすことができます。

～プログラム参加者のコメント～

- ・日本文化を知らない自分に気づくことができた。
- ・あまり通じなかったのも、もっと英語を勉強しようという気持ちが強くなった。
- ・外国の文化についてもっと知りたいと思った。

フィールドワークからすごろく作りの一連の学びをもとに、経験を得て実感したことを次に生かそうとすることが自分の成長につながるとワクワクできる。そんな機会になることを期待し、日々現場に帯同しています。

※Global Village=世界中から集まる留学生「GEP メンバー」との協働体験プログラムです。

※GEP=Global Education Project (GEP)は、LbE Japan のミッション「世界の人々との協働を通じて明るい未来を実現する」に共感した留学生のコミュニティです。

この度は Global Village Newsletter 第 11 号を手にとっていただき、誠にありがとうございました。  
これからも、日々増え続けている「学びの場面」の事例をピックアップしてご紹介させていただきます。

(編集担当: 松本 知)

株式会社 LbE Japan (エルビージャパン) <http://www.lbejapan.co.jp> [info@lbejapan.co.jp](mailto:info@lbejapan.co.jp)